

山の百名花

赤石 孝

【3】エーデルワイス

山の名花ナンバー1として山好きならだれもが知っているのがエーデルワイス。ヨーロッパ・アルプスに広く分布している。しかし、グリーンデルワルトやツエルマツトでハイキングしても、なかなかお目にかかれない。

わが国にエーデルワイスは咲かないが、キク科ウスユキソウ属だから、よく似た花は咲く。双子の姉妹のように本場エーデルワイスそのまま、といわれるのがハヤチネウスユキソウ。日本百名山として知られる早池峰山の蛇紋岩地帯に咲いている。

少し小ぶりになるが、エーデルワイスの様であることになぜけるのがソバヒナウスユキソウ、これは谷川岳や至仏山によく見られる。東北地方に分布するヒナウスユキソウや北海道・サハリンに分布するレブンウスユキソウとも呼ばれるエゾウスユキソウも品のいいエーデルワイスの様だ。

本州・四国・九州・中国地方に広く分布するウスユキソウは、少しトゲトゲしてい

るかなと思う。ともあれ、ウスユキソウと出会うとだれもが「あつ、エーデルワイス」と声を上げるほど山好きには憧れの花である。

3年前、オーストリアのフランツ・ヨーゼフス・ヘーエを訪れたとき、地元のガイドさんが案内してくれたところに、正真正銘の真っ白で大ぶりな品のいいエーデルワイスが風にゆれていた。大満足。



【4】グレイシャーリリー

前述のエーデルワイスを筆頭に、エンツイアン、アルペンローゼを並べてアルプス三大名花と呼ぶそうである。マネツコ的是あるが、山の花、世界五大名花というのを考えてみた。この件、だいぶ以前に発表

済だか、重ねて書けばまずエーデルワイス、ブルーポピー、ラリーグラス、そしてグレイシャーリリー、以上は北半球から選んだ。南半球からニュージーランドのマウントクックリリーを取り上げて五大名花とした。もちろん筆者の勝手な選定である。

さて、グレイシャーリリー、どんな花かといえ、黄色のカタクリだ。初めての出会いは10年程前、初めて訪れたカナディアンロッキーでのこと。1日目のハイキングのときは、パラパラとしか咲いていなくて、ああこれが噂のグレイシャーリリーかと静かに反応しただけだったが、2日目のハイキングの途上で一面黄色のジュータンと化しているグレイシャーリリーのお花畑と出会った。全員が歓声を上げた。

カタクリとまったく同じ形状なのに、色だけが違う。ピンクのカタクリに慣れている我々としては初め戸惑いがあった。しかし、ピンクに慣れているだけに黄色は新鮮な驚きであった。山野草の本ではキバナカタクリと紹介されている。別名、アメリカカタクリ。グレイシャーリリーであってこそ五大名花なんだけど……。